

令和6年度第3回名護市地域公共交通協議会 議事録

日時:令和6年9月27日(金)14時00分より

場所:名護市民会館中ホール及びWeb会議

【報告】(1)令和6年度第1回名護市地域公共交通協議会議事録について
全員異議なし。

【報告】(2)令和6年度第2回名護市地域公共交通協議会書面決議の結果について
全員異議なし。

【報告】(3)名護市コミュニティバス(なご丸)利用状況について

全員異議なし。

<質疑応答>

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(3)-1	R4 年度の実証時から比較して R6 年度の利用者数が 2 倍に増加しているということだが、こういった属性の方が増えているかと、その増加要因を把握していれば教えてほしい。 (沖総局運輸部企画室 亀谷委員)	昨年度のアンケートの結果によると、特に 75 歳以上の利用頻度が増えており、これは EV バスが低床バスであることも要因と考えている。 また、昨年度から 1 年を通して運行できているということもあり、利用者の生活の中に組み込まれるようになったということが要因の一つと考えている。 (事務局)	—
(3)-2	二見以北線について、市街地エリアと二見以北エリア間の移動が少ないのは、そもそものトリップが少ないのか等の状況を知っていれば教えてほしい。 (沖総局運輸部企画室 亀谷委員)	名護市の人口が 6 万 5 千人に対し、二見以北エリア全体の人口が 2 千人程度であり、トリップは少ないと考えている。これに加えて、市街地エリアと二見以北エリア間を利用するコミュニティバスの利用者数も 10 人／日程度と少ないので、最適な運行形態を検討していきたい。 (事務局)	—
(3)-3	P6 記載の「路線バス利用者も増加していると試算された」ということが分かる資料はあるのか。また、タクシーへの影響はどういう状況か。 (名護市社会福祉協議会 野原委員)	路線バス、タクシーへの影響の具体的な試算結果は R5 年度の第 4 回地域公共交通協議会にて示していた。コミュニティバスは片道利用が多い状況なので、例えば「行きはコミュニティバス、買い物後に荷物がある帰りはタクシー」のような交通手段を連携させた施策を検討していきたいと考えている。 (事務局)	—

【議題】(1)名護市地域公共交通協議会規則改正および名護市地域公共交通協議会運賃協議分科会設置要綱の制定について

下記、質疑応答を経て、承認。

<質疑応答>

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(1)-1	今回の道路運送法改正の背景をご存じであれば教えてほしい。 (琉球大学 神谷委員)	独占禁止法に抵触しないように改正されたものである。 (沖縄局運輸部陸上交通課 崎濱委員)	—
(1)-2	委員に一般乗用旅客自動車運送事業者は入れなくてよいのか。 (北部観光バス 宮城委員)	今はコミュニティバスの運行を琉球バス交通が委託を受けて行っているため琉球バス交通のみを委員としており、今後別の事業者が運行する事業を行う際にはその事業者に委員に入ってもらうことを想定している。(事務局)	—
(1)-3	受託した事業者によって委員が変わるということなので、委員として事業者の具体名を書くだけではなく「委員は事業を運行する事業者であり、〇年〇月〇日現在でどの事業者が委員である」ということが分かるように表現するのが良いと考えるがいかがか。 (琉球大学 神谷委員)	ご指摘の内容で修正したい。(事務局)	委員について、「委員は事業を運行する事業者であり、〇年〇月〇日現在でどの事業者が委員である」ということが分かるように修正する。
(1)-4	協議会規約の現行の3条から「運賃・料金等」、「旅客から収受する対価」という文言を削除しているが、修正案の12条は「運賃及び料金」という表現のみであり、同様の表現をしなくてよいのか。 (名護市社会福祉協議会 野原委員)	修正案の12条2項に含まれているという理解であるが、他市町村の事例も確認しながら適切に修正したい。 (事務局)	協議会規約の修正案について、他市町村事例も確認しながら適切に修正する。

【議題】(2) 地域住民アンケート及びコミュニティバス利用者アンケートについて

下記、質疑応答を経て、承認。

< 質疑応答 >

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(2)-1	資料 6 の P8 の利用者アンケートの配布方法について、「A4 ハガキアンケート」と記載があるが正しくは「A4 両面用紙を封筒の中に入れて配布」が正しい内容である。(事務局)	—	—
(2)-2	二見以北線の利用者は本当に少ないと感じているので、利用者を増やす方法が検討できるアンケートなのか教えていただきたい。 (琉球バス交通 小川委員)	資料 3 の P26 に記載しているが、ご意見の通り特に二見以北エリアでの利用が少ない状況は事務局でも把握している。二見エリアの区長会にも意見を聴取しながら検討進めている状況であり、アンケート結果も含めて住民のニーズに沿った効率的な運行方法を検討していきたい。(事務局)	アンケート結果も含めて住民のニーズに沿った効率的な運行方法を検討していく。
(2)-3	利用者アンケートについても、WEB 回答をできるようにすることで回収率が上がると思うがいかがか。 (名護市観光協会 前田委員)	ご指摘の通りなので WEB 回答もできるようにする。 (事務局)	利用者アンケートも WEB 回答をできるようにして実施する。
(2)-4	下記の内容についてどのように表現すべきかを市のルールを確認したほうが良い。 -性別: 男女だけでよいか -同居者: 配偶者だけでなくパートナーをいれる必要はないか (琉球大学 神谷委員)	庁内で確認のうえ、適切な表現に修正する。 (事務局)	指摘内容について適切な表現方法を確認の上修正する、
(2)-5	新規に運行してほしいルートや区間について聞き取る設問にて今の移動手段を聞き取っているが、「今は行っていない(あきらめている)」という選択肢を用意しておくことで外出支援としての枠組みで検討していくことにつながると思う。 (琉球大学 神谷委員)	ご指摘の通り修正する。(事務局)	指摘の通り修正する。

(2)-6	二見以北エリアは市街地エリアと異なり、利用促進の観点ではなくその地域で住み続けるために必要な環境を維持するためにどうすればよいかが重要であると考え。 今回のアンケートでは、どういった支援策(例えば、路線バスが必要なのかデマンドでよいのか)があり、市民として許容できる負担額を踏まえたうえでどこから予算を出すべきなのか(例えば公共交通としての予算なのか、介護保険としての予算なのか等)を議論できるように分析結果を解釈していくこと。 (琉球大学 神谷委員)	事務局でも同様の考え方であり、ご意見を踏まえて分析および検討をすすめたい。(事務局)	アンケート結果も含めてその地域で住み続けるために必要な環境を維持するためにどうすればよいかの観点で検討していく。
(2)-7	アンケート中の公共交通という文言が、路線バスだけなのかコミュニティバスを含むのか分かりにくいところがあるので、回答者が分かるように修正したほうが良い。 (琉球大学 神谷委員)	ご指摘の通り修正する。(事務局)	指摘の通り修正する。
(2)-8	住民アンケートの Q2-10 について、「公共交通の維持」というサービスレベルが回答者によって想定が異なる可能性があるため、「今の利用実態のまま、現行のサービスレベルを維持するために～」というように回答者の想定するサービスレベルが共通になると思う。また、こういった支払い意思額のような結果は上振れすることも多いので分析の際は留意したほうが良い。 (沖縄総局運輸部企画室 亀谷委員)	ご指摘のとおり修正する。また結果の解釈は気を付けながら分析を行いたい。(事務局)	指摘の通り修正する。

【議題】(3)名護市コミュニティバス(なご丸)二見以北線及び羽地・屋我地線実証運行について

下記、質疑応答を経て、承認。

< 質疑応答 >

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(3)-1	住宅地が多くある源河まで運行できないのか。 (名護市老人クラブ連合会 渡具知委員 代理 宮城委員)	今回の羽地・屋我地線は既存のバス路線(72 屋我地線)からの引継ぎでコミュニティバスを運行するもので、源河は今回の対象となっていない。(事務局)	—
(3)-2	屋我地線(運天原行き)の平日 1 便はひるぎ学園には止まらないということか。 (名護市観光協会 前田委員)	屋我地線(運天原行き)は、平日 1 便は運天原到着後にそのまま折り返して名護 BT 行きとして運行する。ひるぎ学園で降車する際は折り返した後に降車をするようになる。ひるぎ学園にも事前に確認してダイヤも設定している。(事務局)	—
(3)-3	コミュニティバスを使いやすくために、名護市運営の LINE にコミュニティバスの情報を載せてはいかがか。タブのメニューに載っていると HP を探す手間も必要がなくなり良いと思う。普段バスを利用しない人にとっては路線図や時刻表も難しいため、そういう人にとっても分かりやすい内容だとなおよい。(名護市観光協会 前田委員)	担当部署と調整・検討を行っていきたい。 (事務局)	担当部署との調整・検討をすすめる。
(3)-4	コミュニティバスにおいても OKICA を利用できるようにしているところだが、中南部に比べて OKICA 利用者が少ないと感じている。引き続き OKICA の利用をお願いする。(琉球バス交通 小川委員)	資料3(別紙)において OKICA の利用割合を整理しているので補足する。循環線は OKICA 利用が 6%、二見以北線は 8%という状況である。(事務局)	—
(3)-5	延着証明を統一フォーマットで運転士から乗客に直接お渡しできるようにするなど、サービス向上に努めていくので引き続きよろしく願いする。(琉球バス交通 小川委員)	—	—

< 次回の会議等について事務局から連絡 >

- ・ 次回開催日の日程調整について、送付させていただく日程調整表に回答いただきたい。開催日は決定し次第周知する。(事務局)